

会報 あさかの



発行

郡山市あさかの
学園大学学生会
《発行責任者》
学生会会長 國分尚美
《編集責任者》
会報編集委員長 大野直彦
《印刷》(株)土屋印刷所



うねめ踊りを終えて



うねめ踊り実行委員長
武藤 次雄

うねめまつりの中、八月八日（金）第61回のうねめ踊り流しが今年も196名の参加をみて盛大に行われました。

街の活性化に寄与すべく、郡山商工会議所の指導の下、あさかの学園大学の先生方のご協力、学生会の後押しで楽しい一夜を過ごすことができ、学生間の交流が一層深まって学園生活に新たな想い出が加わったと思います。

この日のために熱心にご指導いただいた舞踊家の『藤陰玉枝先生』、各クラス代表の実行委員諸氏の並々ならぬご尽力に改めて感謝申しあげ、報告と致します。

〈受賞結果〉

- 個人賞 1A 相馬武さん
- 団体賞優秀賞 あさかの学園大学



準備

豆絞りと花鈴作り



先生を囲んで練習。
それらしくなってきました。



出発前...



出発!

男性陣も女性陣も



國分会長 挨拶

個人賞



今年の個人賞は1名!
相馬 武さん



第61回 郡山うねめまつり実行委員会
(郡山商工会議所) 主催
**事後清掃
ボランティア**



あさかの大はなぜかくも長く

郡山市あさかの学園大学

学長 富田 孝志



健康・福祉、郷土・生活、芸術・文化の各学科、教養、専門、(研修)の各課程、様々な学びの要求に応える見事な仕組みです。

また、経験豊かな素晴らしい先生方が揃っています。

講座のほか学園と学生会の多彩な行事があります。全て運営は学生の手で行われます。ボランティア活動やサークル活動、社会貢献活動など学生の自主活動も盛んです。仲間との強い絆が生まれ、あさかの大的同窓生としての意識が育くまれます。

また、学年委員長、外部委員、学長、副学長からなる運営委員会が設置され、定例で年3回の運営委員会、年1回の学習内容編成委員会が開かれます。事務局の先生方、市の担当課長さんも出席されます。ここで学習計画と行事について検討され改善が図られます。大学の運営に常に学生の意見が反映される仕組みになっているのです。かつて他の市町村でも高齢者大学が試みられ、殆ど存続してないことを考えますと、本大学が創設当初からいかに緻密に計画されたか、38年にわたり先輩の皆さんが大学を良くしようと努力して来たかが分かります。本当に希有なことです。大切に繋いでいこうではありませんか。

『デジタルの障壁』

郡山市あさかの学園大学

副学長 内藤 清吾



最近急が増えて、目立つようになつた物のひとつにファミレスの配膳ロボットがある。人手不足対策で導入されたのだろうが、見慣れると左右に身体を振って近づいて来る様子が可愛く見えてくるから不思議だ。

そして、猛暑の続く中急増したのがスーパーやコンビニ、飲食店などの宅配サービス。UberEatsでは東京並みの注文があつたとか。費用の問題はあるとしても、運転免許証返上を考えている(私のような)高齢者にとっては嬉しい話だ。

車を使わないと、バスでは少なすぎ(本数が)、タクシーでは高すぎる(費用が)。宅配は自宅にいながら外食が出来るのだから快適だ。

ただ、こうした便利さはデジタル化の上で実現されたもので、スマートフォンやタブレット端末でデータを入力することが求められる。病院の予約、通販の注文、タクシー依頼、銀行口座の管理などデジタル優先の仕組みは多数ある。「高齢者はスマホを使えない」と考えるとここに障壁ができる。

見過ごすよりもやってみる気持ちが大切だと思うのだが、さて貴方は如何?

「あさかの学園大学」卒業後の生き方・進路?

会報編集委員長 大野 直彦

突然ですが、あさかの学園大学を卒業後どうされますか?

- 楽しいから、あさかの学園大学に再入学する。
最近流行りですかね。いきいきしてる方、多いです。
- 人様のお世話にならず、自立して悠々自適というのも素敵です。それだけで十分、社会貢献です。
- まだまだ身体の動くうちは世の中の、人様のお役に立ちたい。素晴らしい志です。私も研修2年終了時にそう思えるようになりたいです。

答えは百人百様でしょう。既に答えを出した方、思案中の方、まだ先の事と思って考えてない方もいるのでは。そんな中、うちの学生でこんな人を見つけました。3Bの委員長・佐久間さんです。ご存じの方も多いかと

と思いますが、「子ども食堂を」切り盛りされています。在学中から活動開始して社会貢献を実践。また、学生会役員のLINEでこの話が出た際に、4Aの五十嵐委員長(数年来、児童養護施設に野菜の無料提供を実践中)からその場で玉ねぎ50個、無償提供の話が出て即決。善意の輪が繋がりました。意思のあるところ道は拓かれるですね。少しほっこりする話。

改めて自分の卒業後の進路?生き方?を考えてみようと思うきっかけの出来事でした。



クラス紹介

専門二年 健康・福祉

五十嵐 和紀

4Aは37人のまとまりがある仲の良いクラスです。まとまりの良さは、2年前学園祭舞台発表で「河内おとこ節」を踊る事となり、クラス合言葉「一味同心」の下、練習から本音で対話を重ねお互いを知り、手作りの素晴らしい踊りを披露できた事がきっかけです。充実感、達成感で反省会も盛り上がり、親睦を深め、強い絆が生まれました。

クラス行事も盛んで、茶道入門、手話講習会など幅広く企画され、授業とは一味違う体験に挑戦し、知識を深めています。最後に、卒業式をクラス全員が、元気笑顔、感謝で迎えられる事を願っています。



専門二年 郷土・生活

鈴木 久夫

私達4Bクラスは、元気で楽しくをモットーにした男性20名女性24名による和気あいあいとした学級です。先日の運動会の練習も、クラス一丸となって楽しく行いました。残念な成績でしたが、慰労昼食会でのクラス員の気持ちは優勝気分でした。

クラス行事として、月1回の頻度で夕食会やグラウンドゴルフ大会等イベントを行い、親睦を図っています。現在も、学園祭ステージ発表の練習、夕食会（暑気払い）、ミニゲーム等を交えたBBQ大会等の準備を進めており、特に今年度は、卒業旅行・卒業パーティーも計画しています。

私達仲良しクラスは、卒業まで半年近くになりましたが、菊地先生と共に、最後まで元気で楽しい学園生活を送りたいと思っています。



専門二年 芸術・文化

大和田 富雄

我が4Cは、在籍32名（男10名・女22名）です。班長・副班長12名（男3名・女9名）です。数から見ても、女性が活躍しているクラスだと見て取れます。

このクラスは、学生会会長の國分尚美さんを擁しています。クラスでは学級委員長として彼女の明るい人柄と行動力溢れるリーダーシップを発揮し、クラス内をまとめられています。

男性陣には異論があるかも知れませんが、どちらかというと比較のおとなしく、女性陣に引っ張られているような感じさえします。学校行事等やクラスのイベント行事等においても女性陣が積極的に輝いています。

そういう意味では、正に我がクラスは今の時代に相応しい女性活躍社会を先取りしているかのようなそんなクラスだと思っています。





今日だけは、 ファイヤーボonzの 選手気分で！



運動会実行委員長
専門2年 芸術・文化
渡邊 章太郎

今年の運動会は、2年ぶりに中央体育館（ボンズアリーナ）に戻ってきました。

バスケットボールを大玉に変え、二人ずつ転がしてリレーする大玉転がしは、会場全体が大いに盛り上がり、まるでファイヤーボonzの選手の気分です。

そのあと、恒例のじゃんけんリレー、紅白玉入れ、宝拾いの競技が行われ、優勝チームは、本来は先輩クラスに花を持たせるはずが、空気が読めないのか、「1B」でした。ともかく、おめでとうございます。

今年は、横断幕、応援合戦などコート外での戦いも活発で、多に盛り上がりました。

最後に、開催に向けて準備を進めた実行委員会の皆様と参加された方々に御礼を申し上げます。



令和7年度 郡山市あさかの学園大学 運動会結果

種目	クラス			1 A	1 B	1 C	2 A	2 B	2 C	3 A	3 B	3 C	4 A	4 B	4 C	研1	研2
大玉ころがし	1	8	2	1	1	1	4	10	2	6	6	8	4	10			
じゃんけんリレー	1	8	6	1	2	10	8	4	2	6	1	4	1	10			
紅白玉入れ	8	10	4	1	1	8	4	6	2	10	2	4	10	1			
宝ひろい	2	6	8	6	1	1	10	8	4	1	6	2	1	10			
総合得点	12	32	20	9	5	20	26	28	10	23	15	18	16	31			
順位	10	1	6	12	13	6	4	3	11	5	9	7	8	2			





じゃんけん
リレー



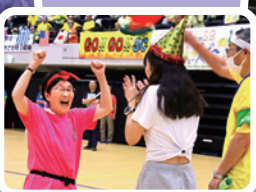
勝利の
歓喜



大玉
ころがし



宝
ひろい



初のラッキーボーイ
& ラッキーガール



今年から10点の
ゴールドカードが…!



紅白
玉入れ



盛上る応援席!



夢に向かって
翔べ



応援席



フレー!
フレー!!





ワンフォーオール オールフォーワン

教養1年 郷土・生活 橋本 孝

4月入学式から3か月。まだクラスの仲間はおろか、班の仲間の顔と名前も漸くわかり始めた中で運動会当日がやって参りました。

同じ年代の大学生とは異なり、年齢・性別、そしてこれまで歩んできた道も全く異なる56名の結束力が優勝という最高の結果に繋がった事は大変素晴らしいことと思います。

当日を迎えるに当たっては、有志が集まり、協議ルールの共有、応援団旗やグッズの作成等、共通目標に向かって、それぞれが自律的に役割を全うしました。この一人ひとり想いの集積が今回の結果に結実したものと確信しております。

「一人は皆の為に、皆は一人のために」

私たちはこの精神で、これからの学生生活を送ってまいります。



2025運動会 準優勝

研修2年 佐藤 重章

梅雨明け前の7月3日、新しくなった「宝来屋ボンズアリーナ」で学園恒例(高齢?)の運動会が開催されました。

優勝の期待を込めて、ひたむきに競技に臨んだ研修2年総勢70名。童心に返り、種目が終わる度に一喜一憂。結果、検討及ばず1点差の準優勝でしたが、みんなで汗を流した後は、級友との絆がより深まり、またひとつ新たに、悔しくも楽しい思い出が心に刻まれました。

終わりに実行委員の皆様、事務局の皆様、第一学院高等学校の皆様、競技奮闘声援下さったクラスの皆様に感謝いたします。



3位



運動会 専門1年 郷土・生活 佐久間 喜代江

朝から暑い中始まった運動会、皆の勢いそのままに。大玉ころがしも大玉を引き当てて1位と出だし良く、ジャンケンでは、スタート良くも中々進まない所もありましたが、何とかゴールしました。

玉入れでは結構入った様ですが、数が分らず3位との報告で驚きました。宝ひろいでも、皆のを合わせると結構な数で28点と0点も5点も集まればすごいと思ったよりも高得点と運も味方にしたかと思うほど3Bの団結を感じました。去年は1位でその勢いは今年も凄いと思える3位の高得点を上げる事ができました。

皆さん元気で転ぶ事も怪我もなく本当に無事に終わる事ができてほっとしています。皆が本気で戦った結果と感じました。本当にお疲れさまでした。

★運動会★ みんなの感想

研修1 熊田 ヨシエ

私は昨年まで運動会役員の審判係として奮闘してまいりました。今年は選手としての参加で日頃の運動不足に向けてウォーキング等、準備を重ねてきましたが、ジャンケンの強さやカードの数字だったりと神様の気次第なので難しいところです。

結果としては良くも悪くも堂々の8位でしたが、皆が笑顔で楽しめたと参加することに意義があるので、良かったかなと感慨いたしました。来年もたのしむぞー

研修2年 橋本 健一郎

梅雨とは思えぬ真夏日の中、総合体育館で運動会が開かれた。体育館は改築で冷房は有ったが、参加者の熱気で溢れていた。特に我がクラスは、やる気十分で応援団・垂れ幕・祝勝会の会場の手配等怠りなく準備していた。体力は落ちているが、運と経験と根拠の無い自信は、どのクラスにも負けていなかった。14クラスが4種目の競技で熱戦を繰り広げ、我がクラスの成績は、3種目で1位、総合で2位となり、祝勝会は大盛況でした。成績より選手、応援団の一体感が、クラスの親睦と結束を深め、仲間との良い思い出となる運動会でした。



1A 松本 秀一

本年大運動会に初参加した中、まず驚いたのは応援の盛り上がりでクラスごとの応援垂れ幕や応援グッズでの声援のすごさにびっくり、また競技も怪我のない様に配慮されていて、その中楽しい汗を流させていただきました。開催の関係者の皆様に感謝申し上げます。

1C 六角 美佐江

学園に入学して初めてのイベント運動会。当日は気温も高かったので、さぞや体育館の中は暑苦しいのでは、と心配でしたが、冷房が効いて身体が動かし易かった事に驚きでした。各クラスが一体となった応援、又競技も工夫を凝らして有り、最後迄ハラハラ、ドキドキで正に青春が再びでした。そして、初めて会話をした人達もいて、一緒に応援出来、クラスの絆が一層強くなった様に思います。

2A 岡崎 真知子

思いを込めた2枚の横断幕や応援グッズを作成し、運動会前の講義日には皆で関の声を上げて迎えた当日、欠席者は無し。結果は目指したものでは無かったけれど、2Aは皆穏やかで真面目なクラスです。伸びしろ十分、来年は乞うご期待!

2B 柳沼 研一

いざ決戦の時、待ちに待った7月3日、決戦場は我々には不釣り合いなボンズアリーナだ。パンカスタイルの応援団長を先頭にスタンバイ完了!優勝目指し、いざ戦わん…

…大玉ころがしは迷走、玉入れはタライに嫌われ、じゃんけんは孫の様な高校生に勝てる訳もなく、宝は他の誰かに取られ残り物には福もなく失意のどん底。でも、みんな笑顔。運動会を一番楽しんでいるのは我がクラス。間違いなく一等賞なのだ。

第一学院高等学校の皆様!!

今年も一緒に運動会ありがとうございました
お疲れ様でした!来年もよろしくね♪



3C 清水 扶実子

3Cの垂れ幕は、デジタルと手書きの二枚。今年の絵のテーマは、皆が主役?制作者は89才?興味を持った方は、もう一度ご覧あれ。怪我のないように精査された競技四種目に、真剣に挑むものの、技術と体力以上に運が勝因を左右する。応援団長一家3Cは、黄色一色一丸となって声援。電光掲示板の点数に一喜一憂し、高揚感漲ったところで閉会。大運動会にご尽力の皆様感謝。



2C 多田 美代志

リニューアルした体育館。入場行進曲が鳴り響くと、一気に運動会モードに入ります。

昨年は初めての運動会実行委員、緊張と不安で、あっという間に終わってしまいました。今年は多少余裕ができ、他のクラスの役員の方々と笑顔でコミュニケーションをとりながら競技も楽しく参加し、そして、役目も無事務めることができました。

4A 村越 孝一

今年は3種目終了時に2位につけ、もしかしたらと期待しましたが、最後の宝さがしでまさかの失速、結果は5位となりました。

クラスのスローガン「一味同心」の下、全員で頑張りましたが善戦及ばず、また運を味方にできず悔いの残る結果でしたが、成績に拘らずクラスメイトと楽しい時間を共有できました。また、誰一人ケガもなく、熱中症もなく終了できたことを大変嬉しく思います。

3A 渡邊 晃

運動会を目前に逝去してしまった級友が作ってくれたうちわを使った応援を力に、学級一丸となって二連覇を目指しました。

宝拾いを残し七位でしたが、一組に一枚しか入っていないゴールドカードを引き当て、四位という結果で終えることができました。

来年は二度目の優勝を目指して頑張ります。



4C 佐藤 佳子

冷房のきいた体育館は快適だった。

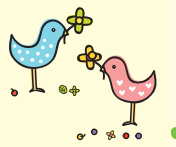
4Cの運動会の成績は7位に始まり5位、3位と上昇中、当然今年は1位を目指した。応援席は四方神(青龍・白虎・朱雀・玄武)が四角を守り、鍾馗様が睨みをきかす。いざ出陣。少数精鋭で頑張り抜き7位。思いやる心とクラスの絆を深めたラッキーセブンだった。

4B 川前 晟三

研修クラスも含めた、全学年が一ヶ所に集まったの行事はほぼ無いので、しかも目前での熱戦の真剣さや時には笑い…又応援の各クラスの統一感、団結力など…4Bクラスとしては少し残念でしたが、とても素晴らしい楽しい一時を過ごすことができました。運営委員の皆さん、菊池先生始め事務局の皆さん、ありがとうございました。全てに感謝。

みんなの広場

日々の暮らしでの発見や感じていること



「野菜づくりと学園生活」

教養一年 健康・福祉

大内 あや子

「あ！なっている」楽しみにしていたフルーツミニトマトがなり始めました。

今は夏野菜が元氣よく育っています。キュウリ・ナス・ズッキーニ・シシトウ・まだまだあります。現役の時はずっくり畑を見ることがなかった私は、今、夫と伴に野菜たちを育てています。そして食卓へと並べています。種から育てているので愛情がわいてきます。自分の健康のために、そして規則正しい生活のために楽しく汗をかいています。

そんな中での週一回の大学授業。大学で出会った人は人生を様々な生き抜いてきた方々です。人生の先輩・後輩に囲まれて学ぶ事はたくさんあります。一つ一つがこれからの私の財産になっていく事でしょう。



私のもう一つの居場所

教養一年 郷土・生活

有賀 寿美子

退職してからの毎日は、主婦業と介護が仕事となった。私が望む第二の人生は、どんな暮らしなのか？と模索しながら、料理・庭作り・断捨離に取り組んだ。

そんな中で感じていたのは、家以外にも自分の居場所があることの大切さだ。そこで昨春秋、「たむら市民大学」に入った。家から出て人と交わり、学んでいる皆さんの生き方に感心した。

この経験は、私の欲していた「所属の欲求」を満たしてくれ、のだと再認識できた。あさかの学園大学への入学で、私の生活にさらなる刺激と彩を与えてもらえそうだとワクワクしている。



「ピカピカの一年生」

教養一年 芸術・文化

佐藤 茂美

五十五年ぶりに一年生になった。期待と不安の入学式を終え、五月からは授業が本格的になった。音楽、歴史、美術、法律、俳句、ひょうたんランプ作り、手話とどの講座も素晴らしい先生方のおかげで興味深い。学生の時は覚えることに必死だった勉強が、今は新たなことが分かって喜んだり、今まで知っていたことと結びついて別な面白さを感じたりする学習に変わっている。そして、周りには一緒に学ぶ一年生がたくさんいる。みなさんやさしく、そしてやる気満々だ。みなさんと共に「ピカピカの一年生」を楽しんでいきたい。どうぞよろしくお願いいたします。



認知症基本法に思うこと

教養二年 健康・福祉

近藤 和夫

令和六年一月一日に認知症基本法が施行され「すべての認知症の人が、基本的な人権を享受する個人として、自らの意志によって日常生活及び社会生活を営むことができる」と定められた。しかし、介護が必要な人が多数存在する。

福島県の推計によれば、二〇四〇年に七五〇〇人の介護職員不足になるとのこと。圧倒的にマンパワーが不足し、介護難民が多発するのである。

そこで、我々の出番である。介護ボランティア活動によって職員不足解消に貢献できると考える。知識や技術の習得には、各自自治体にて無料の講習会が実施されている。

特に「郡山市介護に関する入門的研修」は実践的研修であり有効である。受講してみてはいかがでしょう。



今も青春 フォークソング同好会

教養二年 郷土・生活

佐藤 唱子

一年生の11月、見学したその日に加入！半年が過ぎた今では、月三回の定例会が楽しみになっています。会員数は六月現在で23名前後、ギターやキーボード、オカリナやハーモニカ、口笛の演奏者までいて、賑やかに楽しく唱っています。

学生時代にうたごえ喫茶で歌っていた懐かしい歌「イムジン河」や「翼をください」は勿論、なんと「二人でお酒を」や「津軽平野」まで歌えるとは……。

学生の皆様、ぜひ発表会に参加してみてください。青春請け負います！！



待ち合わせは クアラルンプールで

教養二年 芸術・文化

根本 明美

四月末に、五月クアラルンプールに行つてほしいと無茶ぶりの連絡が来る。またかと思いつながら何故か乗つてしまう私たち夫婦。目的はモルデイブの農業支援。福島からは私達二人。宮城、福岡、本部より五人のツアーだ。

二人はマレーシアで会議があると二日前に出発。私達二人は成田から夜の便でマレーシアへ。七時間かけて着いた空港はアジアのハブ空港クアラルンプール。大きい空港だ。表示に日本語がある！とりあえずひと安心。乗継の時間まで四時間空港内をウロウロ。あれ！ゲートが変わっている。移動しなければ。内心焦りながら空港の端まできてバスに乗る。残り一時間。出発ゲート前で五人顔を合わせる。目的地はここから四時間のモルデイブです。



「突然に」

専門一年 健康・福祉

丸山 文子

あさかの学園に入学して、今年で三年目。新しい班で一緒になった明るく元気な方が、六月八日突然亡くなりました。その方は三月まで働いていて、何日前には外国旅行に行くかと楽しそうに話していたのに、娘さんから電話がきた時は突然で信じられず頭の中が真っ白になってしまいました。

私は、学園に入るまでは人との交流が苦手で、深く付き合うことをさけてきました。でもフォークソングクラブに入り多くの仲間ができて、出かけることも多くなりました。周りからも以前に増して明るく元気でおしゃれになったと褒められます。

年をとったから終活をして質素で地味なおばあちゃんはやめて！！

わがままでいとも楽しそうでおしゃれなおばあちゃんて一生を終えたいと思っています。



「母のブラウス」

専門一年 郷土・生活

田村 陽子

「私、あかしの大学に入学するの」と母は突然宣言した。父を見送って半年後、母は学生生活を謳歌し始めた。

旧知の友とも再会してまさしく「青春ふたたび」だった。とりわけ学園祭のクラスの合唱で白のブラウスと黒のロングスカートがはけたのは嬉しかったらしい。もうこの年だからロングスカートははけない。一度はいてみたかったがはけて本望。感無量の様だった。

あれから20数年。私も母の歩みを追体験すべく入学。母の気持ちがかつたような気がする。ビビットカラーに入部して、白のブラウスを探していたらクローゼットから出てきたのである。あの母の白いブラウス。母の想いを胸に私はブラウスを着る。

お母さんありがとう。母はいつもでも一緒である。



想いの万年筆

専門一年 芸術・文化

草野 静子

10代の頃、友だちに手紙を書くのが好きだった。スマホもケータイもないし、家の電話で長話していると怒られるし。学校でさんさんお喋りしててもまだ話し足りない私たちは、いっぱい手紙を書いた。また明日会えるけど、明日は今じゃない。

レターセットや筆記具もたくさん集めていて、お下がりの万年筆も持っていた。でも新品の万年筆がほしくて『ラミー2000』という万年筆を買った。40年ぐらい前だ。ラミーでこの原稿を書こうとしたけど、お手入れをさぼっていたのですぐには使えず、指定通りデジタルデータでの提出となった。そういう時代。



任された断捨離

専門二年 健康・福祉

勅使河原 妙子

完全車椅子生活の95才の義母に、断捨離を任された。トイレは介護無しでは無理だが、今のところ頭はしっかりしている。百才までは頑張ると口にする義母に、前々から「断捨離を！」と勧めていたが聞く耳持たず。ところが最近「任せるからやって」とのこと。

義母は、ここで育ち結婚して、現在までの私物財産が沢山ある。95年分のアルバムや、趣味のもの等を見回しただけでも、冷や汗が出てくる。本来なら私自身、終活で身辺整理の歳なのに。

しかし、任された以上まずは、義母の意向を尊重し、第一弾の断捨離に励むことにした。



50年を越えた絆

専門二年 郷土・生活

平田 幸一

田村市立常葉中学校に、用務員補助パート勤務して四年になる。そこで、毎年していることがある。それは、「特別支援学級での誕生日祝い」である。誕生日を祝う歌といえは「ハッピーバースデーチュー」の、あの歌である。

その歌は、一曲歌うのに21の音符がある。その音符の数だけ、「アルミ管」を用意するのである。（写真参照）そして、そのアルミ管を、調子よく空中に放り投げる。すると、床に落ちた時に、「キーン」と音を出す。それが、21回繰り返されると、誕生日歌「ハッピーバースデーチュー」になるのである。

アルミ管の出す音を「チャイム」とすると、チャイムが「バンジー（落下）」するので、「バンジーチャイム」と称している。生徒は、初めは恥ずかしがっているが、一度やると楽しくなり、「またやりたい」と言ってくれる。

こうして、老人（60代）と生徒（10代）の「つながり」ができるのである。



「小さな旅」

専門二年 芸術・文化

柳沼 とよ子

今年も六月に姉妹三人で会津下郷町湯上温泉へ行ってきました。四度目の宿泊です。通された部屋の窓を開けてみると目の前に山に大きな虹がうつすらと架かっています。さっそく心が癒されます。山あいの静けさにカエルの鳴き声、時折通過する会津鉄道の電車の音がガタンゴトンと響きます。

部屋の中には源泉掛け流しのお風呂が付いていて自由に入る事ができます。時間を忘れてお喋りに夢中になり上膳下膳の夕食も楽しく頂き、食後の会話は夜更けまで続きました。翌日、チェックアウトの際に一年後の宿泊予約を入れて宿を後にしました。



あさかの学園大学に 入学して

研修一年 鈴木 周明

私があさかの学園大学に入学して早いもので五年目になります。当初、友人に勧められるまま入学しましたが、今ではすっかり生活の一部になっています。

今読んでいる本の中に高齢者には、教養と教育が必要とあります。置き換えると、教養とは「今日用」今日の用事、教育とは「今日行く所」特に男性にとってこれらが無ければ家に閉じこもり、うつ病や痴呆の予備軍となってしまう。

この大学に入学したことで念願の登山、ウォーキング、友人とのランチ、ゴルフなど毎日充実した生活を過ごしています。



「写経クラブに入って」

研修一年 山内 まり子

あさかの大学に入学して早や六年目になりました。いろんな勉強をしたり、体験をして日々新鮮です。

写経クラブにも四年生から入り、五月には西田町の廣度寺にて納経して、座禅もしました。初めての経験です。御住職の説法？を聞き、そして写経。皆さん神妙に黙々と筆を動かします。その空間にとけ込んで私もなんとか時間内に書くことができました。「文字の上手、下手は関係ねえんだ」と誰かの言葉に励まされて。

写経クラブは、ただ書くだけでなく、いろいろな行事があり、親交を深められるのが何よりの魅力です。



入学式・始業式



令和七年度 あさかの学園大学入学式

教養一年 健康・福祉 山澤 修一

令和七年度郡山市あさかの学園大学入学式が、4月11日、私たち一年生173名を含む教養・専門課程552名が出席し、けんしん郡山文化センターで行われました。

普段、コンサートや発表会などで訪れる機会の多い会場ですが、当日エントランスホールに足を踏み入れた瞬間、同じ会場とは思えない熱気と緊張感に圧倒されました。

あさかの学園大学を「学びの場」として自ら選択し今ここにおられる先輩の皆様方の誇りと喜びが強く感じられ、私たち一年生にとって、これから始まる学園生活への何よりの励ましとなりました。

大ホールで行われた式では、富田学長より入学許可をいただき、品川市長のごあいさつ、佐藤市議会議長の祝辞を頂戴しました。新入生代表の鈴木ヨシ子さんが「学び続け、人生を謳歌していく」との決意を述べ、在学生代表の國分尚美さんから心強い歓迎のことばをいただきました。

ややもすると心身ともに内向きになりがちな年頃ではありますが、あさかの学園大学が学習目標に掲げる「積極的な社会参加の契機とする」とともに、地域社会の一員として活躍する力を育む」という原点を忘れず、学友との交流を楽しみながら、さまざまなテーマにチャレンジしていきたいとひそかに誓った一日となりました。

大安場史跡公園清掃ボランティア



最後に、今回参加していただいた皆さん、学生会國分会長はじめ理事会の方々、市の担当部局そして、環境ボランティア委員会の皆さんに改めて感謝申し上げます。

第二回は、10月11日(土)に予定しています。ぜひ多くの方に気軽に参加していただければ幸いです。

また今回も事故やケガがなく、参加された学生の皆さんで作業を通して交流が図れたこと、大変よかったと思いますが、作業を進める上で、委員会の不手際、連絡不足等で、ご迷惑をお掛けした点、お詫び申し上げます。

川敷の遊歩道が整備されました。

本学生会は、郡山地域の河川愛護団体に登録して、河川環境の保全活動に参加しています。今年は、高温の時期が早かったことで草の伸びもよく、刈取機での草刈、草の袋入れ始末等では、ご苦労をお掛けしました。また、数日前まで降っていた雨で足場の悪い中、作業を進めていただいたおかげで、河川敷の遊歩道が整備されました。

さる6月28日(土)、梅雨入りして高温の日が続く中、第一回大安場公園河川草刈り作業を行いました。週末の多忙な中、95名の学生の参加と17台の刈取機のご準備をいただき改めて感謝申し上げます。



環境ボランティア委員会
実行委員長
橋本 町子



臨地学習

天体に学ぶ、青春ふたたび

教養一年 健康・福祉 吉田 たき

皆さん、スペースパークへはもう何回行きましたか？ 私は今日で二度目です。

ゆつくりとリクライニングして夜空を眺めて、星座を楽しむ。太陽のしくみ、オーロラの出来方も学ぶ。中学の理科の時間のようです。

あさかの学園大学に入学した時から学生気分です。みんなと過ごす時間は10代の自分に戻ります。校歌の中の『ああ青春ふたたび めぐる』そのものです。楽しいです。

夜空は普段の生活では見ようとしないと思われませんが。郡山駅前広場で天体観望会もあります。また夜空を見上げませんか。



郡山市立美術館で 絵画鑑賞

教養一年 健康・福祉 村田 英男

二年生になつての臨地学習は郡山市立美術館での美術鑑賞であった。集合は現地に9時40分。クラスの中でバス利用者は私を含めてたったの三人であった。

レクチャールームで郡山市立美術館中山恵理学芸員から今回の企画展武井武雄展の解説を受けた。さらに『皆さんお見えになると、企画展には足を運ぶけど、年に四回ほど入れ替えていきますので常設展にも足を運んでください』と。印象的な一言は『常設展示物は郡山市民の税金で買い上げた郡山市民全員の宝なのです』とも。家にも買った絵を飾ってあるが常

設展の絵画も良く考えた自分のものだ！もつとよく常設展にも足を運ばなくては！と思った。



臨地学習

専門一年 健康・福祉 大平 裕一

市の一等地に歴史博物館が完成、それに併せて5月21日「史跡を巡ねて」の学習があった。五月中旬なのに気温29・5℃、全国第二の猛暑となった当日。水分補給しようにも、公園のため販売機を置いていない。熱中症の症状が現れ、何名もの学生が日陰に避難する有様。

歴史館では、12年前の大震災で友人のKビル崩壊の写真が載っている。幸いにも、誰も巻き込まれることなく避難、Kさん日頃の行いが良かったと噂した。隣の須賀川市や二本松市、三春町は城下町として栄え、郡山市には何も誇るものはないと聞いてきた。その中で歴史館を造り、何をPRするのかと個人的には感じる。

いずれにしても急激な猛暑に慣れてなく、体力の消耗が激しい臨地学習となった。



臨地学習史跡を訪ねて

専門二年 健康・福祉 渡邊 明子

五月七日、開成山公園内周辺にある史跡を、日塔先生の説明を聞きながら、改めて史跡が沢山ある事に驚きました。先人達の大変な思いで時代を生きた証を、感じました。

安積開拓に、多くの先人達が関わった結晶が、今ここに発展した郡山があることに感動しました。今の郡山を、先人達はどう思うのか。

私が住んでいる二本松。二本松藩も、安積開拓に携わったことにも誇らしく思う。人生を歩んでいる中で、先人達への思いを馳せながら臨地学習を通して改めて感じた日であり、開拓者の精神を未来に伝えることの大切さも改めて感じた日でもありました。



みんなの
文
芸

● 短歌

伸び代の僅か信じて学び舎に

心新たに学び喜び

（1B）大鐘 艶子

若き日のときめき映すあさかのほ

あの日の夢の生き写しかな

（2B）武藤 次雄

くちなしの花一輪の咲きし朝

雨降る庭に灯の点るよう

（3B）宗像 道子

この世をば望月の君きらびやか

この月を読めしそれがわが世か

（4B）柳田美恵子

孫走るバックアップは任せとけ

記録が伸びるじ眉下がる

（研1）佐久間 博

朝テレビMLBの選手らに

毎日元氣もらう映像

（研2）深谷 仁

● 俳句

じょうろの先外しびっくり雨蛙

（1C）安藤 典子

夕焼けや孫と五角の腕相撲

（2C）荒井ミドリ

宝剣祭滴る汗や護摩木焚く

（3C）梅津智恵子

立ちあがる懐いをのせて犬雲か

（4C）本間美樹治

突然の山の雷逃げ場なし

（研1）小川 貞子

百日紅我がもの顔の炎天下

（研2）湯田 和由

● 川柳

年金と生活守るこの一票

（1A）橋本 吉徳

さあ青春ステップあれ？足もつれ

（2A）塩田由喜子

おいしいね笑顔でほおばるママの味

（3A）阿部のり子

わが庭は今年は花より野菜苗

（4A）佐久間佳子

大相撲土俵狭しと逃げまくり

（研1）石井 孝志

トランプが世界秩序を変えていく

（研2）國分 弘樹

編集後記

3B 古川 みよ子

猛暑の夏もようやくおさまり、過ごしやすい気候となってきました。

学生会会報「あさかの」62号、皆様のお手元に届きましたでしょうか？

ここ数年は、ほぼ毎年のように平年より暑い夏となって、今年ももれなく暑い夏でした。そんな中、〇〇に鞭打って頑張った運動会、大安場史跡公園の草刈り、うねめ踊り等行事の記事・写真の顔は皆さま輝いていました。今号に寄稿くださいました皆様に感謝いたします。そして、猛暑の中撮影された、撮影隊の皆様にも頭が下がります。

「継続は力なり」と自分に言い聞かせ、会報編集委員となり3年目です。編集委員の皆様足を引っ張らないようにするために精いっぱいですが、役割を果たすために微力ながら頑張るつもりです。

これからも記事募集の際は、皆様の協力が不可欠ですので、よろしくお願いいたします。次号もお楽しみに!!

令和7年度 学生会総会の実施

学生会会長 國分 尚美

最大11連休の大型ゴールデンウィークが明けた5月10日（土）、学生会は令和7年度の学生会総会を無事に開催しました。当日は、学園事務局所長の生江温様、研修2年委員長佐藤重章様にご来賓としてお越しいただき、貴重なご祝辞を頂戴しました。総会には、各クラスの委員長・副委員長から32名が出席。提出された5つの議案はすべて承認され、活発な質疑応答も2件行われました。この総会を通じて、学生会は新年度を順調にスタートさせることができました。

あれから季節は巡り、あっという間に10月となります。日頃より学生会事業にご協力いただき、心より感謝申し上げます。学生会の各実行委員会が企画・実行する様々な事業活動は、各実行委員の方々が、皆さんのために一生懸命計画し、推進しているボランティアの賜物です。この尊い善意を実りあるものにするために、学生の皆様！本年度の後半戦も学生会活動へのご参加、ご支援をよろしくお願い致します。😊

